

記念講演およびシンポジウム「熱帯の大気と海洋」

1. 日 時 大会第2日(5月22日)
2. 会 場 第1会場(講堂:2階)
3. 座 長 松野太郎(東京大学)
4. 話題提供者

村上 勝人(気象研究所):熱帯大気の時節内変動(学会賞記念講演)
 安成 哲三(筑波大学):ENSOの全球的様相(学会賞記念講演)
 村上多喜雄(ハワイ大学):南北半球のモンスーンの遷移(藤原賞記念講演)
 河原 幹雄(気象庁):時節内変動のモニタリング
 山形 俊男(九州大学):ENSOモデル研究の最近の発展
 林 祥介(東京大学):30~60日周期に関する数値実験
 住 明正(東京大学):TOGA計画について

- * 今回は学会賞・藤原賞の受賞者の研究内容が大会事務局の考えていたシンポジウムの内容に近いものでしたので、受賞記念講演を含める形でシンポジウムを企画しました。(大会事務局)

研究会のお知らせ

大会前日に下記の研究会が開催されます。興味のある方は御自由に参加下さい。

1. 梅雨に関する研究会

日 時 5月20日(火) 18:00~20:00
 場 所 東大理学部3号館326号室(地球物理大講義室)
 テーマ 「梅雨はどこまで分かったか、これからの問題点は？」
 話題提供 (1) 中村 一(気象庁):大規模場としてみた梅雨
 (2) 二宮洗三(気象庁):中小規模現象と梅雨前線
 (連絡先:中村 一, 気象庁・数値予報)

2. 南極の気象—第5回会合

日 時 5月20日(火) 16:00~19:00
 場 所 気象庁・総務部第一会議室, 5階
 テーマ 「対流圏微量成分研究と南極」
 話題提供 (1) 山崎孝治(気象研究所):大気大循環から見た南極対流圏への物質輸送
 (2) 巻出義紘(東京大学):大気中のハロカーボンとメタンの分布と変動
 (3) 青木周司(極地研究所):大気中における二酸化炭素の分布と変動
 (4) 小川利紘(東京大学):対流圏微量成分研究の現状と将来展望
 (連絡先:伊藤朋之, 気象研究所)